Web Caster FT-STC-O ステーションカード

取扱説明書

このたびは、Web Caster ステーションカード(WBC FT-STC-O)をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください

●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手元に置いてお使いください。

技術基準適合認定品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

付属品の CD-ROM は日本語 OS 以外の動作保証をしていません。
付属品の CD-ROM はソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害については当社は一切の責任を負いません。

ご使用にあたってのお願い

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ●ご使用の際には取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。
- ●本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ●本商品の故障、誤作動、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や、万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- ●本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- ●本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
- ●本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- ●本書に他社製品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- ●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- ●この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェア、および外観の内容について将来予告無しに変更する可能性があります。

■ワイヤレス機器の使用上の注意

●本商品は、2.4GHz 帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

(1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

(2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

(3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には「局番無しの 113 番」にお問い合わせください。

●本商品は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DSSS 方式を採用しており、与干渉距離は４０ｍです。

2.4	DS	4
■	■	■

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS : 変調方式を示す
4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であること
■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避することを意味する

⚠警告

- 本商品を使用する場合は、ご使用のパソコンのメーカが示している警告、注意事項をお読みになり、正しい手順でご使用ください。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重症を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 心臓ペースメーカに30cm以上近づけないでください。ペースメーカの動作に影響を与えることがあります。
- 航空機内や病院など使用を禁止された区域では、本商品をパソコンから取り外してください。電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。
- 本商品から異臭、異音、煙が発生した場合は、パソコンの電源をOFFにしてパソコンから取り外してください。火災、感電の原因となることがあります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、破損した場合は、パソコンの電源をOFFにしてパソコンから取り外してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一、内部に水などが入ったり、ぬらした場合は、パソコンの電源をOFFにしてパソコンから取り外してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、パソコンの電源をOFFにしてパソコンから取り外してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
- 加湿器のそばなど、湿度の高いところや油がとぶところでは、設置及び使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。

⚠注意

- 本商品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証はいたしかねます。
- 本商品のコネクタ部分には直接手を触れないでください。静電気により、故障の原因となることがあります。
- 本商品を以下の様な場所で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
  - ・直射日光のあたるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱機のそば
  - ・調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所
  - ・振動・衝撃の多い場所
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・鉄粉や腐食性ガスが発生する場所
- ぬれた手で本商品を操作しないでください。感電・故障の原因になります。
- 本商品は、精密機械です。落としたり、重い物を乗せたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

目　次

本書の見方

必要に応じて、以下の順番にお読みください。

１．最初に確認しましょう	同梱されているものの確認、本商品を動作させるのに必要な動作環境等について説明しています。 インストールをはじめる前に、必ずお読みください。

２．設定をしましょう	ドライバ及び設定ユーティリティのインストール等について説明しています。 各 OS により作業内容が異なりますので、ご注意ください。

３．無線 LAN を接続してみましょう	アクセスポイントや他の無線 LAN 製品との接続、通信内容の暗号化について説明しています。また、設定ユーティリティの使い方を説明しています。

1 最初に確認しましょう

セットを確認してください

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。
万一、不足品があったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

●構成品

構成品	
①WBC FT-STC-O ステーションカード本体	
②お使いになる前に （安全にお使いいただくために、CD-ROM インストール方法）	
③CD-ROM （取り扱い説明書，ドライバ・ユーティリティソフト含む）	
④WBC FT-STC-O 保証書	
⑤無線注意ラベル	
⑥NTT 通信機器お取扱相談センタシール	

動作環境を確認してください

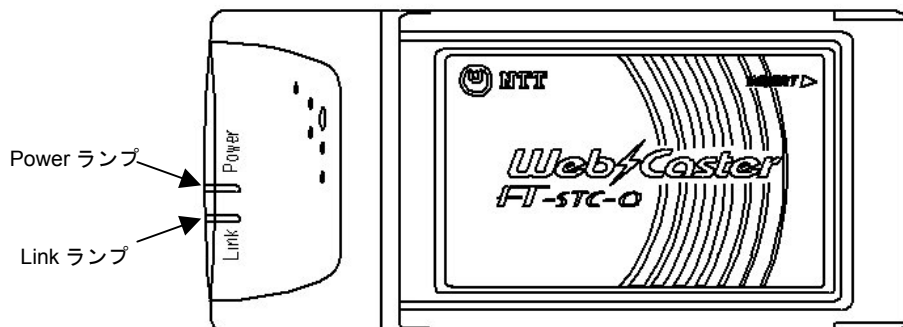
●動作環境

PC カードスロット（PCMCIA TYPE Ⅱ）を搭載し、CD-ROM ドライブ（インストール用）を搭載した DOS/V マシン

●Web Caster FT-STC-O ステーションカードが対応している OS

Windows® 98／98SE（日本語版）
Windows® Me（日本語版）
Windows® 2000（日本語版）
Windows® XP（日本語版）

注）添付のユーティリティソフトは、Windows® XP には対応しておりません。XP をご使用の際には標準のワイヤレスネットワーク設定を利用します。

各部の名前

[ランプ表示]

ランプの種類	通信モード	ランプのつき方（色）	本商品の状態
Link	インフラストラクチャ	点灯（緑）	アクセスポイントとの間で正常に通信が行われている状態
		点滅（緑）	ネットワーク上に接続可能なアクセスポイントが見つからない状態
		消灯	機能停止状態 （パソコンから安全にカードが取り出せる状態）
	アドホック	点灯（緑）	通信エリア内の他の無線 LAN 搭載機器を探している状態、もしくは他装置と通信可能な状態
		消灯	機能停止状態 （パソコンから安全にカードが取り出せる状態）
Power	―	点灯（緑）	PC のカードスロットに挿入して電源が入っているとき

2

設定をしましょう

アクセスポイントを設置しましょう

無線 LAN アクセスポイントと通信する場合には、次のように設置してください。
なお、アクセスポイントには WBC FT5100-AP の使用を前提で記載します。

１．アクセスポイントの電源を入れた状態で設置します。

２．アクセスポイントの ESSID（ネットワーク名）を確認します。
アクセスポイントの取扱説明書を確認して、ESSID（ネットワーク名）を記録しておいてください。
（設定が一通り終わった時点で、アクセスポイントと通信を行う際に使用します）
WBC FT5100-AP の ESSID は、工場出荷設定では「FT5100-XXXXXX」となっています。
XXXXXX は LAN 側 MAC アドレスの下３バイト（６桁）となっています。
MAC アドレスは、本体にはられているシールを確認してください。

３．アクセスポイントの暗号キーを確認します。
アクセスポイントの取扱説明書、および実際に設定された装置の状況を確認し、暗号化設定が施されている場合には暗号キーを記録しておいてください。
（設定が一通り終わった時点で、アクセスポイントと通信を行う際に使用します）

詳しくは WBC FT5100-AP の詳細取扱説明書の「３章　LAN 機能を使いましょう　ワイヤレス設定」をご覧ください。

●ESSID とは、
本商品とアクセスポイント通信時に使用するネットワーク識別用の ID です。ネットワーク毎に ESSID（ネットワーク名）を設定することにより、ネットワークに参加できる子機を制限することが可能です。

ドライバー・ユーティリティをインストールしましょう

本商品を使用する場合には、はじめにドライバーをインストールする必要があります。
ご使用のパソコンの OS ごとにインストール方法が異なりますので、OS の種類に合わせて以降のインストール方法をご覧ください。

●OS が Windows® XP のパソコンをご使用になる場合
　→次ページ以降の “Windows® XP の場合 “を参照して、インストールを行ってください。
●OS が Windows® 2000 のパソコンをご使用になる場合
　→次ページ以降の “Windows® 2000 の場合 “を参照して、インストールを行ってください。
●OS が Windows® Me/98/98SE のパソコンをご使用になる場合
　→次ページ以降の “Windows® Me/98/98SE の場合 “を参照して、インストールを行ってください。

注１）
ご使用のパソコンの設定状態によっては、CD を入れても、自動的に起動できないことがあります。
その際は、「マイコンピュータ」を開いてCD-ROMのアイコンをダブルクリックします。
また、アイコンをクリックしても起動しない場合は、CD内の「**WBC_STC.exe**」アイコンを探してクリックすると起動します。

注２）
インストールを行う前に、全てのアプリケーションを終了させてください。
また、ウィルスチェックプログラムを一時的に終了させないと、正常にインストールが完了しない場合がありますのでご注意ください。

注３）
本商品はスタンバイモードには対応していません。
本商品をインストールする前に、ご使用のパソコンの取扱説明書等をお読みになり、スタンバイモードを解除しておいてください。

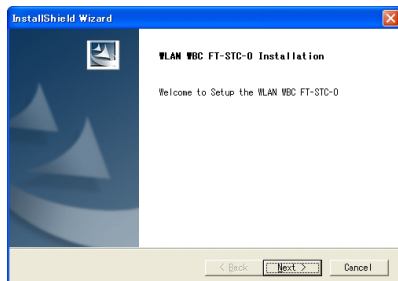
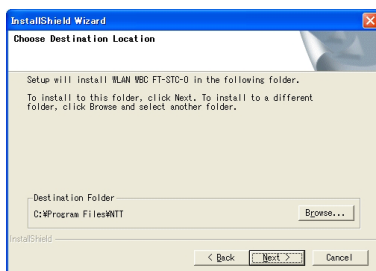
注４）
インストールを行っている途中で、「ドライバー情報データベース」の作成を行う際に、お客様のご使用になられているパソコンの状態によって、OS の CD-ROM を挿入するように指定してくる場合があります。その際は、パソコンの取扱説明書等をお読みになり、指定の作業を行ってください。

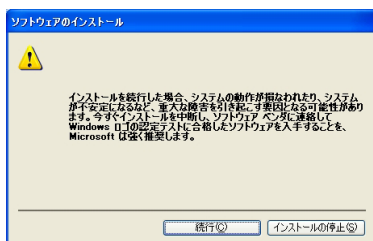
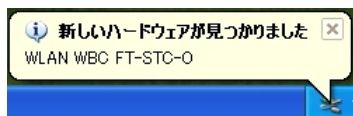
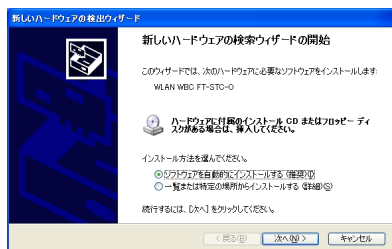
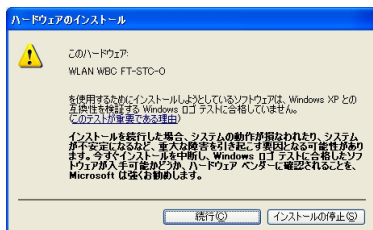
ドライバー・ユーティリティをインストールしましょう Windows® XP の場合（１／２）

1 パソコンの電源を投入し、Windows® XP を起動します。その際、必ず Administrator 権限のあるユーザーでログインしてください。

> **注意**：この時点では、本商品（カード本体）を PC カードスロットに挿入しないでください。パソコンの電源を ON にする前、もしくは OS が起動した時点で本商品を挿入した場合、ドライバのインストールに失敗する恐れがあります。

2 CD ドライブに付属の CD をセットすると、次のユーティリティが自動的に起動してきます。
　起動しましたら、[ドライバーのインストール］をクリックします。

3 インストール確認画面が開きますので、そのまま［Next］をクリックします。

4 ドライバーのインストールウィザードの画面が開きます。
ユーティリティのインストール先を変更される場合は［Browse…］をクリックして､インストール先を指定します。変更の必要が無ければ、そのまま［Next］をクリックします。

5 ソフトウェアのインストールに関して下記のような確認メッセージが出ます。特に問題は発生しませんので、［続行］をクリックしてソフトインストールを継続します。

ドライバー･ユーティリティをインストールしましょう Windows® XP の場合（２／２）

6 ソフトインストールが正常終了した後に、本商品をカードスロットに挿入します。
挿入の際には、本商品（カード本体）のラベル面を上にして、PC カードスロットの奥まで挿入します。
カードを正常認識すると、タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました」というコメントが表示されます。
※PC カードスロットの位置・使用方法については、お使いのパソコンにより異なります。わからない場合には、パソコンの取扱説明書等をご覧ください。

7 「新しいハードウェアの検出ウィザード」のウィンドウが開きますので、インストール方法のボタンは［ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨)］を選択し、そのまま［次へ］をクリックします。

8 ドライバーをインストールする際に、下記のような注意を促す画面が表示されますが、特に問題はありませんので［続行］をクリックしてインストールを進めます。

9 ドライバーのインストールが開始されます。

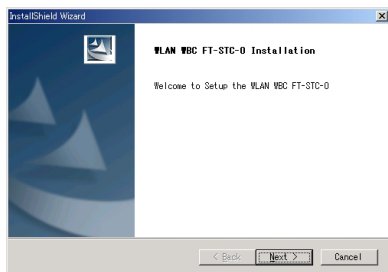
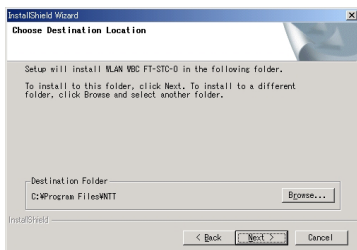
10 ハードウェアのインストールが完了したことを示す画面が開きますので、確認のために［完了］をクリックしてインストールを終了します。

ドライバー･ユーティリティをインストールしましょう Windows® 2000 の場合（１／２）

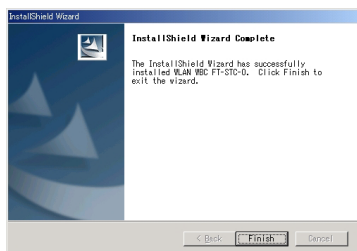
1 パソコンの電源を投入し、Windows® 2000 を起動します。その際、必ず Administrator 権限のあるユーザーでログインしてください。

注意：この時点では、本商品（カード本体）を PC カードスロットに挿入しないでください。パソコンの電源を ON にする前、もしくは OS が起動した時点で本商品を挿入した場合、ドライバーのインストールに失敗する恐れがあります。

2 CD ドライブに付属の CD をセットすると、次のユーティリティが自動的に起動してきます。
起動しましたら、[ドライバーのインストール］をクリックします。

3 インストールの確認ウィンドウが開きますので、そのまま［Next］をクリックします。

4 ドライバーのインストールウィザードの画面が開きます。
ユーティリティのインストール先を変更される場合は［Browse…］をクリックして､インストール先を指定します。変更の必要が無ければ、そのまま［Next］をクリックします。

5 インストール途中に下記のメッセージが表示されますが、そのまま［はい］をクリックしてください。インストールが継続されます。

ドライバー・ユーティリティをインストールしましょう Windows® 2000 の場合（２／２）

6 ［Finish］をクリックするとインストールが終了します。
※ご使用のパソコン状態によっては、再起動を要求する場合があります。

7 インストールが正常に完了したのを確認した後に、本商品（カード本体）のラベル面を上にして、PC カードスロットの奥まで挿入します。
※PC カードスロットの位置・使用方法については、お使いのパソコンにより異なります。わからない場合にはパソコンの取扱説明書等をご覧ください。

8 カードが正しく認識されると、下記のウィンドウが表示されます。

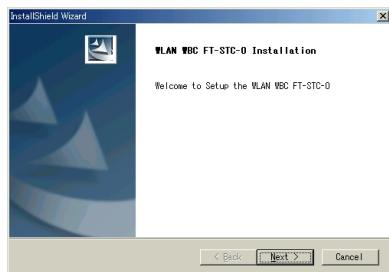
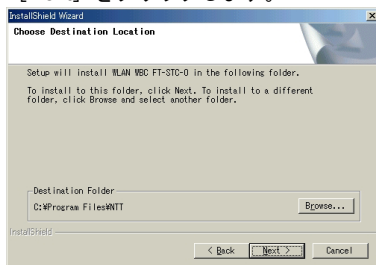
9 下記のウィンドウが開きますので、そのまま［はい］をクリックしてください。インストール作業が継続されます。このウィンドウが閉じた時点で、インストール作業は終了です。

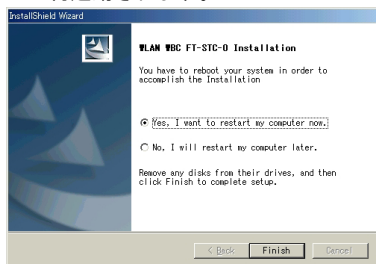
ドライバー･ユーティリティをインストールしましょう Windows® Me／98／98SE の場合（１／２）

1 パソコンの電源を投入し、Windows® Me/98/98SE を起動します。

注意：この時点では、本商品（カード本体）を PC カードスロットに挿入しないでください。パソコンの電源を ON にする前、もしくは OS が起動した時点で本商品を挿入した場合、ドライバーのインストールに失敗する恐れがあります。

2 CD ドライブに付属の CD をセットすると、次のユーティリティが自動的に起動してきます。
　起動しましたら、[ドライバーのインストール］をクリックします。

3 インストールの確認ウィンドウが開きますので、そのまま［Next］をクリックします。

4 ドライバーのインストールウィザードの画面が開きます。
ユーティリティのインストール先を変更される場合は［Browse…］をクリックして､インストール先を指定します。変更の必要が無ければ、そのまま［Next］をクリックします。

5 インストールを完了するために、パソコンの再起動を要求してきますので、［Finish］をクリックすると、パソコンが再起動されます。

ドライバー・ユーティリティをインストールしましょう Windows® Me／98／98SE の場合（２／２）

6 再起動が正常に完了したのを確認した後に、本商品（LAN カード本体）のラベル面を上にして、PC カードスロットの奥まで挿入します。
※PC カードスロットの位置・使用方法については、お使いのパソコンにより異なります。わからない場合にはパソコンの取扱説明書等をご覧ください。

7 カードが正しく認識されると、下記のウィンドウが表示されます。

注）「ドライバー情報データベース」の作成の際に、お客様のご使用になられているパソコンの状態によって、インストールの途中に OS の CD-ROM を挿入するように指定してくる場合があります。
その際は、パソコンの取扱説明書等をお読みになり、指定の作業を行ってください。

本作業により、インストール作業は完了です。

3 無線ＬＡＮを接続してみましょう

アクセスポイントと通信しましょう（インフラストラクチャ・モード）

本商品と無線 LAN アクセスポイントと通信する場合の設定方法について記載します。
（アクセスポイントには WBC FT5100-AP の使用を前提で記載します。）

インフラストラクチャ・モードとは、本商品を搭載したパソコンからアクセスポイント WBC FT5100-AP を介し、無線 LAN 上で通信を行う場合に設定するモードです。
ドライバ・ユーティリティをインストールする場合と同様に、下記の内容を確認してください。

１．アクセスポイント WBC FT5100-AP の電源が入っていることを確認します。

２．アクセスポイントの ESSID（ネットワーク名）を再度確認します。
アクセスポイントの取扱説明書を確認して、ESSID(ネットワーク名)を記録しておいてください。

３．アクセスポイントの暗号キーを再度確認します。
アクセスポイントの取扱説明書、および実際に設定された装置の状況を確認し、暗号化設定が施されている場合には暗号キーを記録しておいてください。

なお、ご使用のパソコンの OS によって、設定方法が異なりますのでご注意ください。

●OS が Windows® XP のパソコンをご使用になる場合
→次ページ以降の“Windows® XP の場合“を参照して、設定を行ってください。

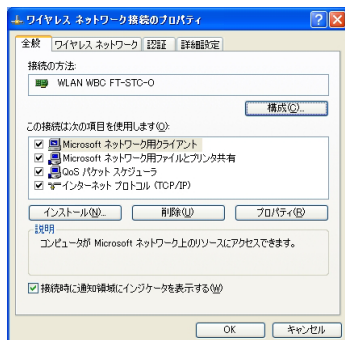
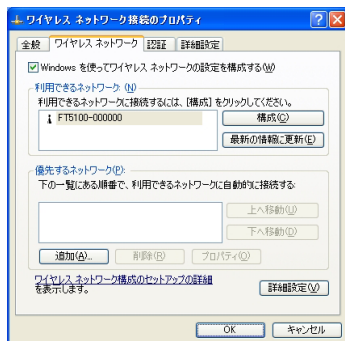
●OS が Windows® 2000/Me/98/98SE のパソコンをご使用になる場合
→次ページ以降の“Windows® 2000/Me/98/98SE の場合“を参照して、設定を行ってください。

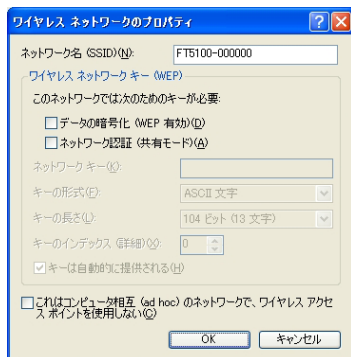
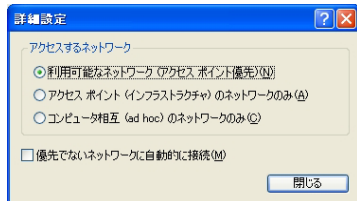
アクセスポイントと通信しましょう（インフラストラクチャ・モード）　Windows® XP の場合（１／２）

この時点で、ドライバのインストールが完了し、カードが PC スロットに挿入されているものとします。
カードの Power ランプが点灯し、Link ランプが点灯もしくは点滅していることを確認してください。
（注意）
Windows® XP をご使用の場合はその他の OS と異なり、XP 標準のユーティリティを使用して設定を行いますので、ご注意ください。

1. ［スタート］ボタンをクリックした後、［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。
　注）コントロールパネルを「クラシック表示」に変更している場合は［ネットワーク接続］を開きます。

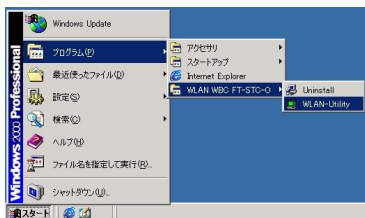
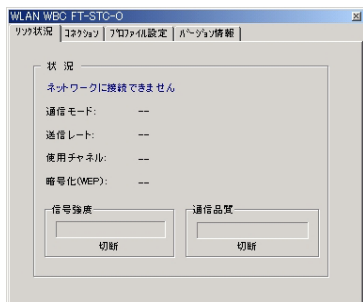
3. 「ワイヤレス ネットワーク接続」のアイコンを選択し、「ネットワークタスク」内の［この接続の設定を変更する］をクリックすると、「ワイヤレス　ネットワーク接続のプロパティ」が開きます。
（この時点では、「ワイヤレスネットワーク接続」のアイコンに赤い×がついている場合があります。）

4. 上部タブの「ワイヤレス　ネットワーク」をクリックすると、利用できるネットワークの一覧等が表示されます。
インストール前に調べておいた ESSID（ネットワーク名）を「利用できるネットワーク」の中から探し、クリックして選択した後に、［構成］をクリックします。

注意
この時点で「利用できるネットワーク」に調べておいた ESSID（ネットワーク名）が表示されない場合は、接続先の装置が ESSID（ネットワーク名）を通知しないタイプの製品である可能性があります（FT5100 をご使用の場合工場出荷時は、ESSID を通知しない設定となっています）。
その場合は［追加］をクリックして、あらかじめ確認しておいた ESSID（ネットワーク名）を設定して［OK］をクリックしてください。

5 通信用に用意したアクセスポイントが暗号化（WEP）設定をしていなければ、このまま［OK］をクリックしてください。もし暗号化（WEP）を設定している場合は、後述の内容に従い暗号化(WEP)設定をする必要があります。

6 「利用できるネットワーク」の中から、アクセスポイントの ESSID（ネットワーク名）を選択した後、［詳細設定］ボタンをクリックすると、詳細プロパティが開きます。
この項では AP との接続を行いますので、一番上の［利用可能なネットワーク(アクセスポイント優先)］を選択し、［閉じる］をクリックしてください。

7 全ての情報を設定したら、［OK］をクリックした後、「ワイヤレスネットワーク接続」のアイコンをクリックすると下記のような「ワイヤレスネットワーク接続の状態」が開きます。シグナル感度や、パケットの送受信等が確認可能です。

以上で、アクセスポイントとの無線 LAN 接続関連の設定は終了です。
暗号化設定を行っている場合は、引き続き「通信内容を暗号化しましょう」をお読みください。

アクセスポイントと通信しましょう（インフラストラクチャ・モード）　Windows® 2000／Me／98／98SE の場合（１／２）

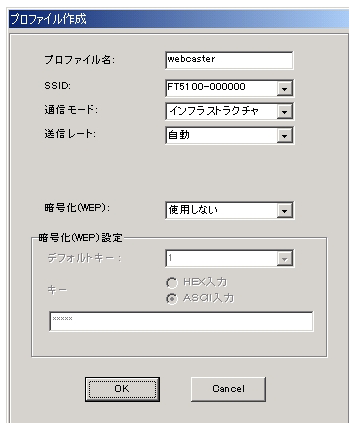
この時点で、ドライバのインストールが完了し､カードがPCスロットに挿入されているものとします。
カードのPowerランプが点灯し､Linkランプが点灯もしくは点滅していることを確認してください。
（注意）
Windows® XPと異なり、付属のCDよりインストールした設定用ユーティリティソフトを使用します。

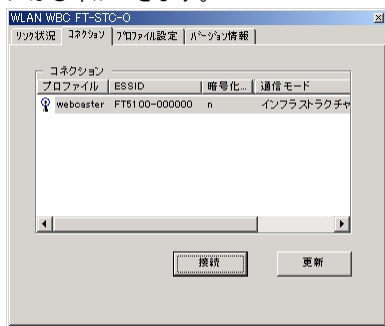
1　タスクトレイのユーティリティアイコン をクリックします。
もし表示されていない場合は､[スタート］ボタン→［プログラム］→［WLAN WBC FT-STC-O］→［WLAN-Utility］をクリックしてユーティリティソフトを起動します。

2　ユーティリティの画面が開きます。

3　上部のタグ［コネクション］をクリックします。
コネクションの中に接続可能なネットワークが表示されますので、アクセスポイントの ESSID（ネットワーク名）があることを確認します。

4　上部のタグ［プロファイル設定］をクリックします。工場出荷時は何も入っていませんので、［新規作成］をクリックして新しいプロファイルを作成します。

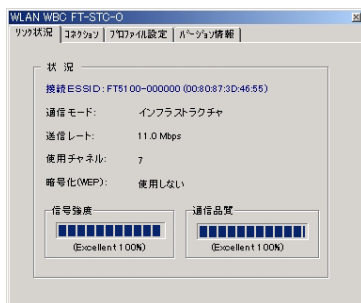
注意
この時点で「利用できるネットワーク」に調べておいたESSID（ネットワーク名）が表示されない場合は、接続先の装置がESSID（ネットワーク名）を通知しないタイプの製品である可能性があります（FT5100をご使用の場合工場出荷時は､ESSIDを通知しない設定となっています）。
その場合は［追加］ボタンをクリックして、あらかじめ確認しておいたESSID（ネットワーク名）を設定して［OK］をクリックしてください。

アクセスポイントと通信しましょう（インフラストラクチャ・モード） Windows® 2000／Me／98／98SEの場合（２／２）

5 プロファイル編集を行います。プロファイル名は任意の英数字を記入してください。インストール前に調べておいたアクセスポイントの ESSID（ネットワーク名）を SSID の欄に書きます。暗号化している場合は、後述の内容に従って暗号化の設定を変更してください。一通りの入力が完了したら［OK］をクリックしてください。

6 ［プロファイル設定］で設定した内容が反映されて、正常に通信ができていることを確認します。

　通信をしているプロファイル名の前には○印がつきます。

登録したプロファイル設定の内容でうまく接続できない場合は、一度「更新」をクリックするか、設定したプロファイル設定を選択して、「接続」をクリックして下さい。

7 タスクトレイの中のアイコンが → に変わっていることを確認します。

8 上部の［リンク状況］タグをクリックして、信号強度と通信品質が表示されていることを確認した後、ウィンドウを閉じます。

以上で、アクセスポイントとの無線 LAN 接続関連の設定は終了です。

暗号化設定を行っている場合は、引き続き「通信内容を暗号化しましょう」をお読みください。

通信内容を暗号化しましょう

本商品は無線を利用しているために、ケーブルの配線工事が不要というメリットがあります。しかし通信内容の暗号化していない場合には、電波の届く範囲であれば通信内容を傍受される危険性が考えられます。
そのため、本商品をお使いになる際には必ず暗号化（WEP）の設定を行ってください。

WEP（Wired Equivalent Privacy）とは、無線 LAN の標準的な暗号化方式であり、ネットワークへの参加を許可する装置に対して共有キーを設定することにより、部外者からの不正アクセスを防止するものです。
暗号化に必要な共有キーの長さは２種類用意されていますので、ネットワークの重要度に合わせてお選びいただくか、ネットワーク管理者に確認してください。

なお、ご使用のパソコンの OS によって、設定方法が異なりますのでご注意ください。

●OS が Windows® XP のパソコンをご使用になる場合
　→次ページ以降の“Windows® XP の場合“を参照して、設定を行ってください。

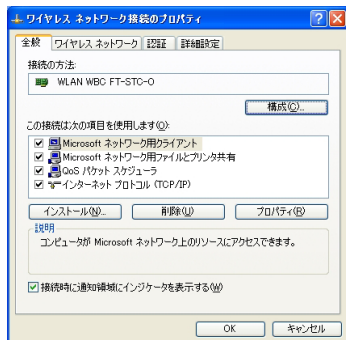
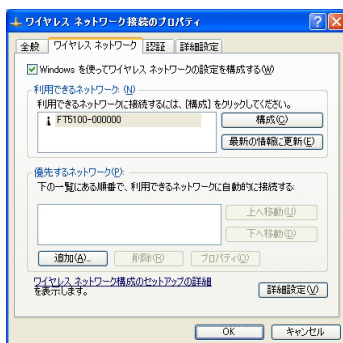
●OS が Windows® 2000/Me/98/98SE のパソコンをご使用になる場合
　→次ページ以降の“Windows® 2000/Me/98/98SE の場合“を参照して、設定を行ってください。

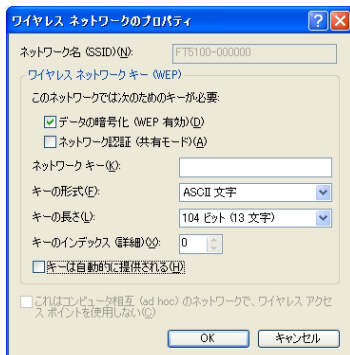
通信内容を暗号化しましょう Windows® XP の場合（１／２）

この時点で、ドライバのインストールが完了し､カードがPCスロットに挿入されているものとします。
カードのPowerランプが点灯し､Linkランプが点灯もしくは点滅していることを確認してください。
（注意）
Windows® XPをご使用の場合はその他のOSと異なり､XP標準のユーティリティを使用して設定を行いますので、ご注意ください。

1 ［スタート］ボタンをクリックした後、［コントロールパネル］をクリックします。

2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。
注）コントロールパネルを「クラシック表示」に変更している場合は［ネットワーク接続］です。

3 「ワイヤレス ネットワーク接続」のアイコンを選択し､「ネットワークタスク」内の［この接続の設定を変更する］をクリックすると､「ワイヤレス　ネットワーク接続のプロパティ」が開きます。

4 上部タブの「ワイヤレス　ネットワーク」をクリックすると、利用できるネットワークの一覧等が表示されます。
インストール前に調べておいたESSID（ネットワーク名）を「利用できるネットワーク」の中から探し、クリックして選択した後に､［構成］をクリックします。

5 「ワイヤレスネットワークのプロパティ」の画面内の［データの暗号化（WEP有効)］をクリックすると､各種パラメータの入力が可能となりますので、次ページの内容に従って入力してください。

通信内容を暗号化しましょう Windows® XP の場合（２／２）

下表は、WBC FT5100-AP と接続することを前提として記載してあります。

データの暗号化（WEP 有効）	WEP によるデータの暗号化を行う場合に、クリックしてチェックマークをつけます。
ネットワーク認証（共有モード）	共有キーを使用する場合に、クリックしてチェックマークをつけます。
ネットワークキー	「キーの形式」にあわせた暗号キーを入力します。
キーの形式	キーの形式を選択します。 「ASCII 文字」：ASCII コードに従った文字を使用するとき 「16 進数」　：0〜9,A,B,C,D,E,F からなる 16 進数を使用するとき
キーの長さ 注１）	暗号キーの入力長を選択します。 WBC FT5100-AP の設定が 64bit の場合：[40bit] に設定 WBC FT5100-AP の設定が 128bit の場合：[104bit] に設定 ※暗号キーの文字数・桁数の表示は、キーの形式により切替ります。
キーのインデックス（詳細） 注２）	インデックスを 0〜3 の範囲で指定します。 WBC FT5100-AP の設定が“1”の場合：“0”に設定 WBC FT5100-AP の設定が“2”の場合：“1”に設定 WBC FT5100-AP の設定が“3”の場合：“2”に設定 WBC FT5100-AP の設定が“4”の場合：“3”に設定 ※通常は“0”を指定します。
キーは自動的に提供される	ネットワークキーがアクセスポイントから自動的に送信される場合には、クリックしてチェックマークをつけます。

注１）[キーの長さ] は、XP 標準のユーティリティと、他の OS で用いる付属のユーティリティで表示内容が異なります。それぞれ以下のように読み替えてご使用ください。

　　XP ユーティリティ：40bit　→　他 OS 用ユーティリティ：64bit
　　XP ユーティリティ：104bit　→　他 OS 用ユーティリティ：128bit

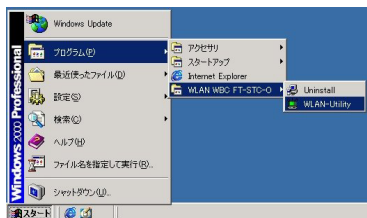
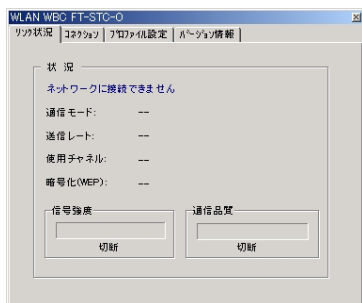
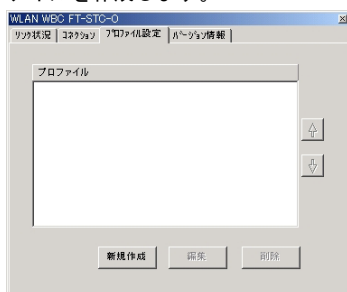
注２）[キーのインデックス] は、XP 標準のユーティリティと、他の OS で用いる付属のユーティリティで表示内容が異なります。それぞれ以下のように読み替えてご使用ください。

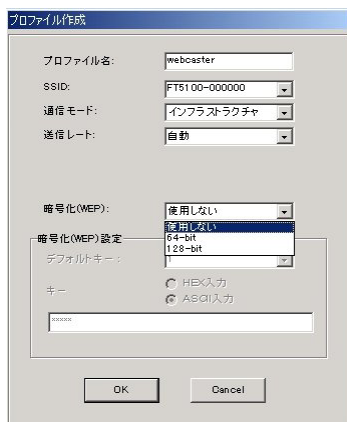
　　XP ユーティリティ：“0”〜“3”→　他 OS 用ユーティリティ：“1”〜“4”

6 [OK] ボタンをクリックして設定を終了します。

通信内容を暗号化しましょう Windows® 2000／Me／98／98SE の場合（１／２）

この時点で、ドライバのインストールが完了し、カードが PC スロットに挿入されているものとします。
カードの Power ランプが点灯し、Link ランプが点灯もしくは点滅していることを確認してください。
（注意）
Windows® XP と異なり、付属の CD よりインストールした設定用ユーティリティを使用します。

1 タスクトレイのユーティリティアイコン をクリックします。
もし表示されていない場合は、[スタート] ボタン→［プログラム］→［WLAN WBC FT-STC-O］→［WLAN-Utility］をクリックしてユーティリティソフトを起動します。

2 ユーティリティの画面が開きます。

3 上部のタグ［プロファイル設定］をクリックします。すでにプロファイル設定が存在していれば、内容を変更したいプロファイルをクリックして選択し、［編集］ボタンをクリックします。また、新規に作成したい場合等には、[新規作成］をクリックして新しいプロファイルを作成します。

4 「プロファイル編集」の画面内の［暗号化（WEP)］のメニューで［64-bit］または［128-bit］を選択すると、「暗号化設定」内のパラメータが入力可能となりますので、次ページの内容に従って入力してください。

通信内容を暗号化しましょう Windows® 2000／Me／98／98SE の場合（２／２）

暗号化（WEP） 注１）	暗号化しない　:［使用しない］に設定 WBC FT5100-AP の設定が 64bit の場合 :［64bit］に設定 WBC FT5100-AP の設定が 128bit の場合 :［128bit］に設定
デフォルトキー 注２）	デフォルトキーを 1～4 の範囲で指定します。 WBC FT5100-AP の設定が“1”の場合 :“1”に設定 WBC FT5100-AP の設定が“2”の場合 :“2”に設定 WBC FT5100-AP の設定が“3”の場合 :“3”に設定 WBC FT5100-AP の設定が“4”の場合 :“4”に設定 ※通常は“1”を指定します。
キー（形式）	キーの形式を選択します。 「ASCII 入力」: ASCII コードに従った文字を使用するとき 「HEX 入力」 : 0～9,A,B,C,D,E,F からなる 16 進数を使用するとき
キー（設定値）	「キー（形式）」にあわせた暗号キーを入力します。

注１）[キーの長さ]は、本ユーティリティと XP 標準のユーティリティで表示内容が異なります。それぞれ以下のように読み替えてご使用ください。

本ユーティリティ : 64bit　→　XP ユーティリティ : 40bit
本ユーティリティ : 128bit　→　XP ユーティリティ : 104bit

注２）[キーのインデックス] は、本ユーティリティと、XP 標準のユーティリティで表示内容が異なります。それぞれ以下のように読み替えてご使用ください。

本ユーティリティ :“1”～“4”　→　XP ユーティリティ :“0”～“3”

5 [OK] ボタンをクリックして設定を終了します。

他の無線LANステーションカードと通信しましょう（アドホック・モード）

アクセスポイントを介さずに、本商品と他の無線LANステーションカード等の間で直接通信する場合（アドホックモード）の設定方法について記載します。

1. 他の無線LANアダプタを搭載した端末を電源を入れた状態で設置します。

2. 任意のSSID（ネットワーク名）を決めます。既設のネットワークに接続する際には、管理者にお問い合わせいただき、SSID（ネットワーク名）を確認してください。

3. 本商品、および他の無線LANアダプタに同じSSID（ネットワーク名）を設定してください。

（注意）
無線LANを使用したネットワーク機器が複数存在した場合、それぞれのネットワークで別々のチャネルを設定する必要があります（相互干渉を防止するため）。通信チャネルの設定値が重なった場合、相互に通信内容が漏れる可能性もあるため、十分に注意してください。

なお、ご使用のパソコンのOSによって、設定方法が異なりますのでご注意ください。

●OSがWindows® XPのパソコンをご使用になる場合
　→次ページ以降の“Windows® XPの場合”を参照して、設定を行ってください。

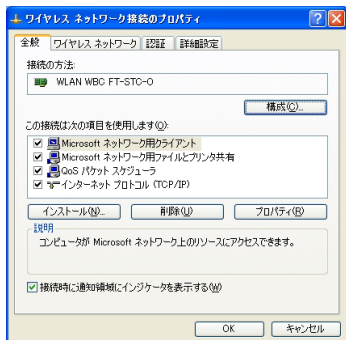
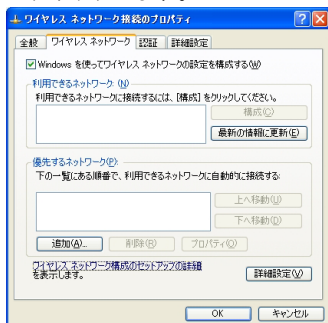
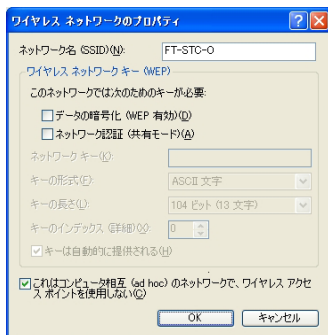
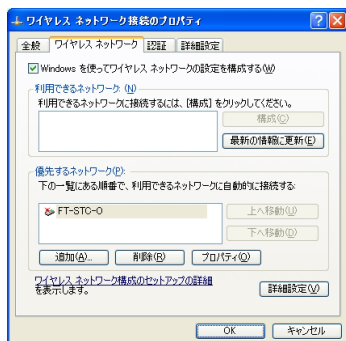
●OSがWindows® 2000/Me/98/98SEのパソコンをご使用になる場合
　→次ページ以降の“Windows® 2000/Me/98/98SEの場合”を参照して、設定を行ってください。

他の無線 LAN ステーションカードと通信しましょう（アドホック・モード） Windows® XP の場合（1／2）

この時点で、ドライバのインストールが完了し､カードがPCスロットに挿入されているものとします。
ネットワークに参加させたい全ての PC の電源を入れ、カードの Power ランプが点灯し、Link ランプが点灯もしくは点滅していることを確認してください。
（注意）
Windows® XP をご使用の場合はその他の OS と異なり､XP 標準のユーティリティを使用して設定を行いますので、ご注意ください。

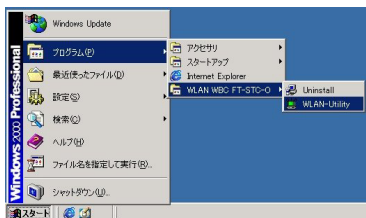
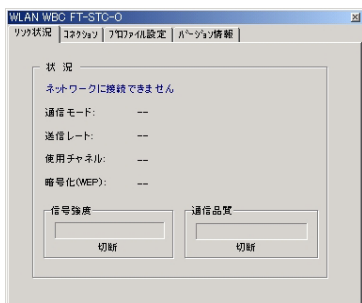
1　［スタート］をクリックした後､［コントロールパネル］をクリックします。

2　［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。
注）コントロールパネルを「クラシック表示」に変更している場合は［ネットワーク接続］です。

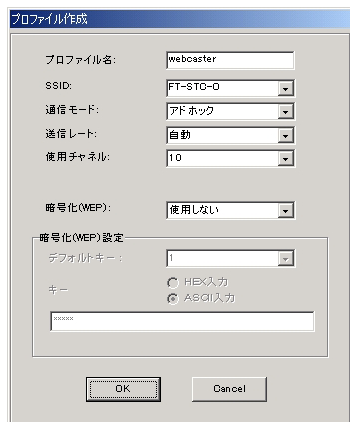
3　インストール済みの｢ワイヤレス ネットワーク接続」のアイコンを選択し、「ネットワークタスク」内の［この接続の設定を変更する］をクリックすると「ワイヤレス　ネットワーク接続のプロパティ」が開きます。

4　上部タブの「ワイヤレス　ネットワーク」をクリックして､「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」を表示します。この状態で、
・1 台目の設定を行う場合、SSID を新規登録する必要がありますので､［追加］ボタンをクリックします。
・2 台目以降、もしくは既存のネットワークに参加させたい場合は､｢利用できるネットワーク」から SSID（ネットワーク名）を選択し、［構成］をクリックします。

5　「ネットワーク名（SSID)」の欄に SSID（ネットワーク名)を設定すると共に、「これはコンピュータ相互（ad hoc）のネットワーク・・・」にチェックを設定した後に､[OK]をクリックします。

6 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の「優先するネットワーク」の中に設定した SSID（ネットワーク名が表示されることを確認して、[OK] を押し設定を完了します。

以下、ネットワークに参加させる全ての PC に同様の設定を行ってください。

他の無線 LAN ステーションカードと通信しましょう（アドホック・モード） Windows® 2000／Me／98／98SE の場合（１／２）

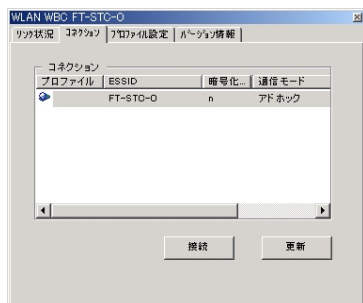
この時点で、ドライバのインストールが完了し､カードがPCスロットに挿入されているものとします。
ネットワークに参加させたい全ての PC の電源を入れ、カードのPowerランプが点灯し、Link ランプが点灯もしくは点滅していることを確認してください。
（注意）
Windows® XPと異なり、付属のCDよりインストールした設定用ユーティリティを使用します。

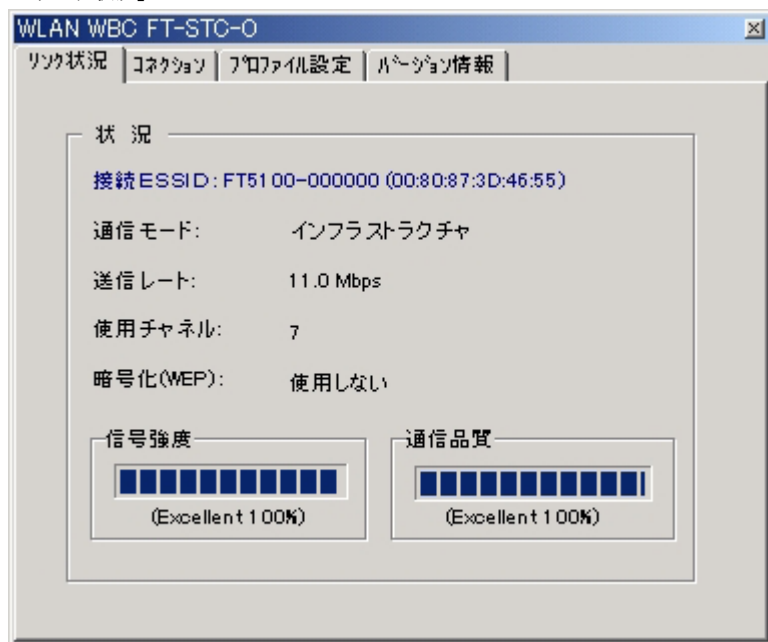
1 タスクトレイのユーティリティアイコン をクリックします。
もし表示されていない場合は､[スタート] ボタン→［プログラム］→［WLAN WBC FT-STC-O］→［WLAN-Utility］をクリックしてユーティリティソフトを起動します。

2 ユーティリティの画面が開きます。

3 上部タグ［プロファイル設定］をクリックします。ここで［新規作成］をクリックして新しいプロファイルを作成します。

4 「プロファイル作成」の画面内の任意の「プロファイル名」を入力します。
その後［ネットワークの種類］のメニューで[アドホック]を選択した後に、
・1台目の設定を行う場合､「SSID」の欄にSSID（ネットワーク名）を入力
・2 台目以降、もしくは既存のネットワークに参加させたい場合は、「SSID」のプルダウンメニュー内からSSID（ネットワーク名）を選択を行います。同様に、使用するチャネルを「チャネル」の中から選択して［OK］ボタンをクリックします。
※暗号化を行う場合は、前述の「通信内容を暗号化しましょう」の項を参照してください。

他の無線 LAN ステーションカードと通信しましょう（アドホック・モード） Windows® 2000／Me／98／98SE の場合（２／２）

5 2台以上のPCに設定が終了した時点で、上部タグ「コネクション」の画面で通信ができていることを確認します。もし通信状態になっていない場合には、SSID（ネットワーク名）を選択して［接続］を押して接続します。

ネットワークに参加させる全ての PC に同様の設定を行ってください。

ユーティリティソフトを使用しましょう（１／２）

ここでは、OS が Windows® 2000/Me/98/98SE のパソコンをご使用になる場合のユーティリティソフトについて、くわしい内容をご紹介します。各種設定に関しては、前述の設定関連の項を参照してください。

「リンク状況」

項目	詳細内容
接続 ESSID	現在参加しているネットワークの ESSID（ネットワーク名）が確認できます。
通信モード	インフラストラクチャ・モードかアドホック・モードの確認ができます。
送信レート	現在の通信速度（１／２／５．５／１１Ｍｂｐｓ）が確認できます。
使用チャネル	現在の使用チャネル（１～１４）が確認できます。
暗号化（WEP）	暗号化（６４／１２８ビット）を行っているかどうか確認できます。
信号強度	現在接続中の無線 LAN の信号の強度が確認できます。
通信品質	現在接続中の無線 LAN の接続品質が確認できます。

（注）アドホック・モードに設定した場合、信号強度および通信品質は表示できません。
（“Not Applicable”という表示が出ます。）

ユーティリティソフトを使用しましょう（２／２）

「コネクション」

項目	詳細内容
接続	セレクトされている ESSID（ネットワーク名）のネットワークに接続できます。
更新	表示内容を更新します。

4 付録

トラブルシューティング

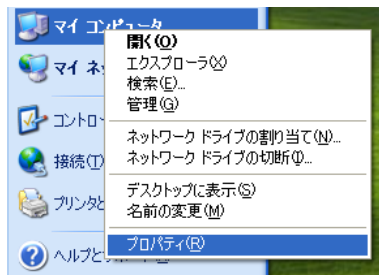
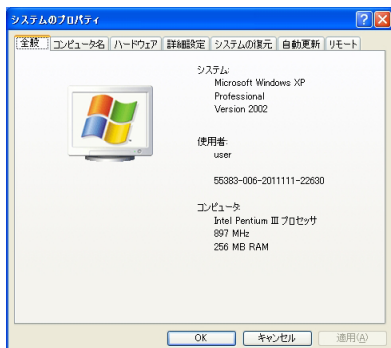
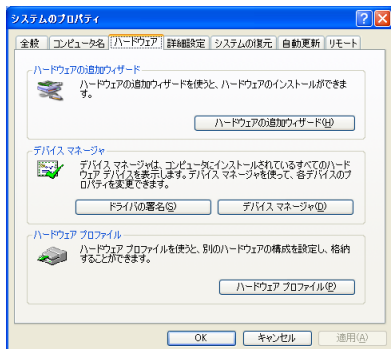
トラブルが起きたときや疑問点があるときは、こちらをお読みください。
該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品をパソコンから取り出して次ページ以降のソフトウェアのアンインストールを行い、再度インストールされることをお勧めします。
その際、再インストールを行うと、プロファイルのデータ等が消去されますのでご注意ください。

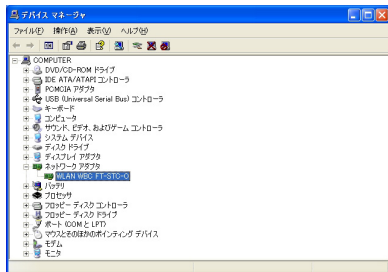
症状		原因と対策
本商品をPCのカードスロットに挿入したとき	POWERランプが点灯しない	カードに電源が入っていません。 ●PC カードスロットの奥まで正しく挿入してください。 ●PCカードスロットが複数ある場合には、他方に差し替えてみてください。カードスロットの動作が不安定な可能性もあります。
	LINKランプが点灯、または点滅しない	カード挿入がうまくできていません。 ●PC カードスロットの奥まで正しく挿入してください。 カードスロットの動作に問題があります。 ●PCカードスロットが複数ある場合には、他方に差し替えてみてください。 アクセスポイント、もしくは接続可能な無線 LAN機器との間で通信ができません。 ●電波の届く範囲に接続可能な無線LAN機器があることを確認してください。 パソコンの状態に問題がある。 ●パソコンを一度再起動してください。

インストールの状態を確認するには

ドライバソフトのインストールが確実に行われていて、正常に使用できることを確認する方法を示します。

以下の画面例は、Windows® XP の場合について説明しています。

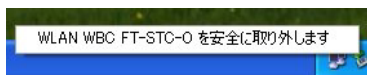
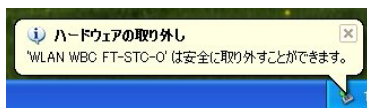
1 ［スタート］ボタンをクリックし、［マイコンピュータ］上で右クリックして［プロパティ］を選択します。
※XP 以外の OS をお使いの場合は、［マイコンピュータ］のアイコンはデスクトップ上にあります。

2 「システムのプロパティ」の画面上のタブ「ハードウェア」をクリックします。

3 デバイスマネージャの項の［デバイスマネージャ］をクリックします。

4 「デバイスマネージャ」の「ネットワーク　アダプタ」をクリックし、「WLAN WBC FT-STC-O」があることを確認します。
（注意）
もし「WLAN WBC FT-STC-O」のアイコンの前に“！”マークがついている場合は、何らかの問題が発生しています。
その際には、PC の再起動をしたり、ドライバソフトの再インストールを行ってみてください。

本商品をＰＣから取り外す場合は

本商品は、PC の電源が OFF の際にはいつでも PC カードスロットから取り外すことができます。
また、PC の電源が ON の状態で各種 OS をご使用中の状態においても、下記の作業を行うことにより PC カードスロットから取り外すことができます。

（注意）
- 本商品を取り外す際には、アクセス状態でないことを確認した後に、以下の説明に従って取り外してください。
- 以下の操作を行い PC から取り外せる状態になると、そのままではご使用になれません。ご使用になる場合はいったん本商品を取り出した後に、再度挿入してください。

以下の画面例は、Windows® XP の場合について説明しています。

1 画面右下のタスクトレイの PC カードスロットのアイコンをクリックします。
（OS によっては、アイコンの形が異なりますので、注意してください。

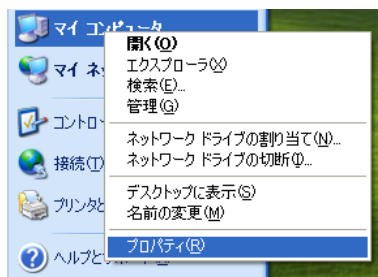
2 接続されている PnP 機器リストの中から、本商品をクリックします。

3 下記のようなコメントが出ることを確認してください。

4 PC カードスロットから本商品を取り出します。

※　再度ご使用になる場合は、そのまま挿入すると自動的にカードを再認識します。

本商品（ソフトウェア）を削除する場合は（１／２）

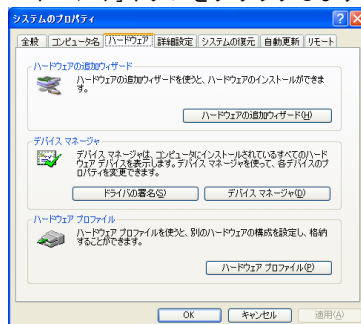
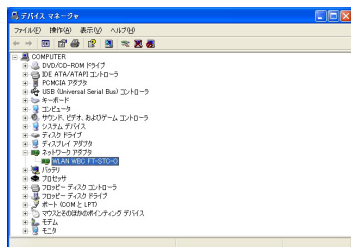
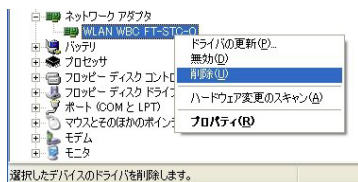
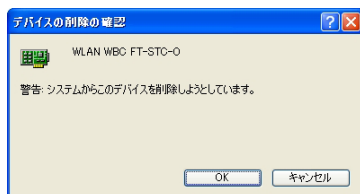
本商品をご使用になるためにインストールされた､各ソフトウェアをアンインストール(削除）する方法についてご説明します。インストールされたソフトウェアには､｢ドライバソフト」と「ユーティリティソフトの」2 種類があり､OSにより一部内容が異なりますのでご注意ください。

●ドライバソフトの削除
以下の画面例は、Windows® XP の場合について説明しています。

1 ［スタート］ボタンをクリックし､［マイコンピュータ］上で右クリックして［プロパティ］を選択します。
※XP 以外の OS をお使いの場合は、［マイコンピュータ］のアイコンはデスクトップ上にあります。

2 「システムのプロパティ」の画面上のタブ「ハードウェア」をクリックします。

3 デバイスマネージャの項の［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

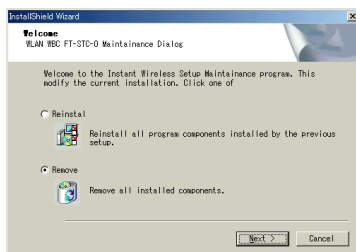
4 「デバイスマネージャ」の「ネットワークアダプタ」をクリックし、「WLAN WBC FT-STC-O」があることを確認します。

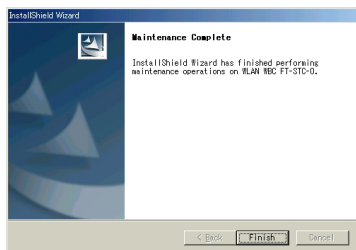
本商品（ソフトウェア）を削除する場合は（２／２）

5 「WLAN WBC FT-STC-O」をクリックして選択し、右クリックで［削除］を選択します。

6 削除の確認のウィンドウが開きますので、［OK］をクリックすると削除が開始されます。

●ユーティリティソフトの削除

※本作業は、Windows® XP 以外の OS をご使用の場合に関係があります。

以下の画面例は、Windows® 2000 の場合について説明しています。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「WLAN WBC FT-STC-O」のメニューから、「Uninstall」をクリックします。

2 以下のようなウィザードのウィンドウが開きますので、［Remove］を選択して「Next」をクリックします。

3 ユーティリティソフトの削除が終了すると「Maintenance Complete」のウィンドウが開きますので、[Finish] をクリックして作業は完了です。

用語解説

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。

［アルファベット順］

用語	解説
ESSID（ネットワーク名）	Extended Service Set ID の略。 後述の SSID と同義です。本書では、アクセスポイントとして FT5100-AP を例にとった場合に、特にこの呼び方にしています。
DSSS	Direct Sequence Spectrum Spread（スペクトラム直接拡散方式）の略。 無線による通信方式の一つで、他の通信との干渉が少ないことや、ノイズに強いことが特徴です。
IEEE802.11/802.11b	IEEE802.11 は、無線 LAN 通信に関する国際標準規格の一つです。この規格を拡張したものが IEEE802.11b であり、最大速度 11Mbps による通信が可能です。
SSID（ネットワーク名）	Service Set ID の略で、無線のサービスエリア内に複数のネットワークが存在する場合に、グループごとに SSID を設定して他の人からのアクセスを防ぐための ID です。 本書では特にアクセスポイントの場合、ESSID（ネットワーク名）と記載しています。
WEP	Wired Equivalent Privacy の略。IEEE802.11b に含まれる標準の暗号化方式。 各無線通信機器どうしが共通の暗号鍵を使用して通信データを暗号化します。40 bit の鍵では約１ 兆通りの暗号化が可能なため、暗号鍵を知らないパソコンは通信に参加できません。

［あいうえお順］

用語	解説
アドホックモード	アクセスポイントを介さずに、本商品等を実装したパソコン同士が直接通信を行う形態を指します。
インフラストラクチャモード	アクセスポイント（本書では FT5100-AP を例に記載しています）を介して、通信をする形態を指します。

製品仕様

項目	仕様
商品型番	WBC FT-STC-O
規格	IEEE802.11b RCR STD-33, ARIB STD-T66（第二世代小電力データ通信システム）
周波数帯／チャネル	2.4GHz 帯（2400～2497MHz）/ch1～ch14
伝送方式	DSSS 方式（スペクトラム直接拡散方式）
伝送速度	1／2／5.5／11Mbps（自動切換）※1
変調方式	1Mbps：DBPSK／2Mbps：DQPSK／5.5Mbps,11Mbps：CCK
無線設備の種別	小電力データ通信システム
伝送距離（見通し距離）	屋外：約 100m(11Mbps)～約 200m(1Mbps)（見通し） 屋内：約 70m(11Mbps)～約 120m(1Mbps)（見通し） （環境によって大きく異なります）
アクセス方式	アドホック／インフラストラクチャ （インフラストラクチャはアクセスポイント使用時）
アンテナ方式	ダイバーシティアンテナ
セキュリティ方式	SSID，WEP（64/128bit）※2
状態表示	電源ランプ，LINK ランプ
PC インタフェース	PC カードスロット（PCMCIA TYPE Ⅱ）
対応 OS	Windows® 98/98SE／Windows® Me／Windows® 2000／Windows® XP※3
使用電源	PC からの供給による
消費電力	最大 1.5W
動作環境	温度：0～40℃，湿度 5～85%（ただし結露しないこと）
外形寸法	約 54(w)mm×9(H) mm×119(D)mm
質量	約 0.04kg
準拠規格	TELEC，VCCI CLASS B

※1　規格による速度を示すものであり実効速度は異なります。
※2　同一無線ネットワークにおいて、64bitWEP と 128bitWEP の混在はできません。
※3　Windows®は米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（１年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける「定額保守サービス」をお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの１１３番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ：フリーダイヤル ０１２０－１０９２１７（トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

注　　意
本商品は、外国為替および外国貿易法が定める規制貨物に該当します。
本商品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE
This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law.
When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://www.ntt-east.co.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ：0120－109217（トークニイーナ）
電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

WBC FT-STC-O トリセツ